

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
大分市中心市街地地区

令和2年12月

大分県大分市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者通行量	人	288,290	352,100	311,950	確定 見込み ○	△	あり なし ○	313,444	R 1年 11月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値より歩行者通行量は増加している。求心力のある施設整備やイベントの実施、回遊性を高めるための修景整備などが一定の効果として現れていると考えられる。
指標2	まちなか滞留時間	%	29.7	40.2	57.7	確定 見込み ○	○	あり なし	55.9	R 1年 11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南北市街地の形成が進み商業施設や広場等の整備が進んできたこと、案内など情報の発信が充実してきたことにより、中心市街地の「滞留性」が高まったことが効果発現要因になったと考えられる。
指標3	中心市街地の空き店舗率	%	11.1	7.9	9.8	確定 見込み ○	△	あり なし ○	9.8	R 2年 3月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	従前値より空き店舗率が減少しており一定の事業効果が発現しているものと考えられる。ただし、今後については新型コロナウイルスの影響により、飲食店舗の減少等が見込まれるため、動向について注意深く見守る必要がある。
指標4	小売業の年間商品販売額	億円	4,863	5,000	5,551	確定 見込み ○	○	あり なし	5,551	H 28年 6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	経済産業省の商業統計を用いた。平成28年度時点の結果で目標は達成しているものの、平成28年度以降、同統計は行われておらず。平成28年度時点での確定値となっている。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	中心市街地の「回遊性」「滞留性」に一定の改善傾向が表れた。また、低未利用地の高度利用として「祝祭の広場」が整備された。	都市空間の高度利用として、祝祭の広場の可変性を活かした憩いの空間演出や、集い・祝いのイベントを行うとともに、適切な情報提供を行い、中心市街地の交流人口増加に努めた。また、22街区・54街区等の中心市街地公有地については、民間活力の活用も視野に入れ、活用施策を検討している。	新型コロナウイルスの影響により、歩行者通行量、まちなか滞留時間が減少するなか、祝祭の広場周辺については、通行量がほぼ維持された。	新型コロナウイルスの影響により、歩行者通行量、まちなか滞留時間については、今後減少が見込まれる。十分な感染拡大防止策を盛り込んだうえで、都市機能の利活用と賑わい促進、人にやさしい魅力ある都市空間の育みにつなげていく必要がある。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西方向の歩行者通行量の増加</li> <li>・中心市街地全体の情報提供の充実</li> <li>・低未利用地の有効活用</li> </ul>	大分城址公園の防護柵、サイン版の設置 祝祭の広場の利活用を推進する大型ビジョンの設置 県庁前古国府線の道路整備	景観に配慮した質の高い都市空間を整備することによって魅力的なまちなみを形成し、中心市街地の回遊性向上に寄与した。	大分市中心市街地地区では、令和2年度より次期計画を建てて事業に取り組んでいる。次期計画のなかで、市民が地域に誇りを持てるまちづくりを進めることが求められる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項